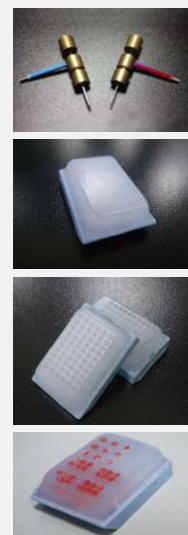
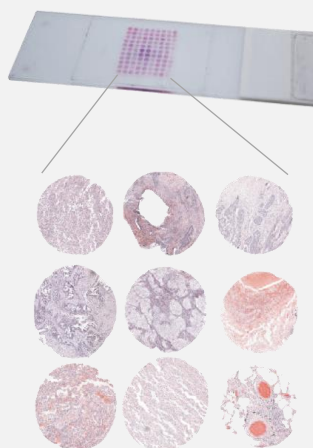




半自動組織アレイヤー

AutoTiss ONE

組織アレイ作製の手間を削減しませんか？

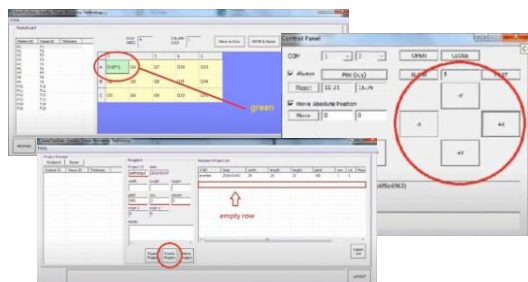


Tissue Micro Array (組織アレイ; TMA) は、免疫組織化学 (IHC) や蛍光免疫染色 (IF) の手法を用いて、多検体の分子病理学的検索を1枚のスライドガラス上で行うことができる実験手法です。バイオマーカー研究や抗体のバリデーション等で特によく利用されています。

AutoTiss ONEは、パンチニードルの位置をソフトウェアで制御することができる半自動の組織アレイヤーです。これまで手作業で行っていた組織アレイブロック作製の手間を削減することができます。

また、組織アレイブロックあるいはドナーブロックから組織をくり抜いてPCRチューブに移すことも可能で、組織からの分子生物学的な解析にお使いいただくこともできます。

ソフトウェア制御



パンチニードルのXY位置をソフトウェアで正確に制御できます。

実験プロジェクト名、レシピエントブロック上のXY位置、入力した患者IDとサンプルIDを合わせてエクセル形式で保存し、エクスポートすることができます。

3種類のブロックフォルダー



標準フォルダー

4個のパラフィンブロックを置くことができるスタンダードフォルダーです。



メガサイズフォルダー

大きいサイズのドナーブロックからアレイを作るためのオプションフォルダーです。



PCRチューブフォルダー

掘削した組織をPCRチューブに回収するためのオプションフォルダーです。

製品仕様

本体とソフトウェア

製品番号	TMA-001
品名	AutoTiss ONE
本体	
キャパシティ	4 パラフィンブロック (2ドナーブロック + 2レシピエントブロック)
パンチニードル	Φ0.6, 1.0, 1.5, 2.0, 2.5 mm ステンレスニードル (標準付属: 1.0/2.0 mm)
駆動システム	マイクロステップモーター
駆動方法	XY スクリューボール
駆動スピード	100 mm/秒 (XY)
処理スピード	150 コア/時間
パンチニードルのXY軸制御	ソフトウェアによりコントロール
パンチニードルのZ軸制御	マニュアル
レシピエントブロックの掘削位置	行および列のコア数や間隔をソフトウェアで指定することにより自動で制御
ドナーブロックの掘削位置	目視により決定
ニードルの位置解像度	0.01 mm (XY)
ニードルの位置再現性	± 0.01 mm (XY)
パラフィンブロック加温機能	あり
装置サイズ	W 405 x D 350 x H 424 mm
装置重量	7.5 kg
設置温度環境	温度15-32 °C、湿度20-80 %
必要電源	100V / 15A 1系統 (50/60 Hz)
ソフトウェア	
データインプット	患者IDとサンプルIDをエクセル形式でインポート可能
データアウトプット	ブロックの掘削XY位置をエクセル形式でエクスポート可能
レシピエントレイアウト	行および列のコア数と間隔をレイアウト可能

コントロール PC (別途ご購入)

製品番号	TMA-PC
品名	AutoTiss用 コンピューター
コンピューター仕様	
タイプ	14 インチ ノートPC
OS	Microsoft Windows® 10
RAM	8 GB



www.everbiotech.com/product/autotissone/

※本装置は試験研究用です。医療や診断もくつみにはご使用いただけません。
※価格、外観、仕様などは、予告なしに変更することがあります。
※それぞれの商標や登録商標、製品名は各社の所有する名称です。

代理店

輸入元



本社 〒135-0014 東京都江東区石島 2-14
Imas Riverside 4F
Tel. (03)6458-6696 Fax. (03)-6458-6697
西日本営業所 〒532-0003
大阪市淀川区宮原5-1-3 NLC新大阪アースビル403
Tel. (06)6394-1300 Fax. (06)6394-8851
Web Site : www.scrum-net.co.jp

EVB211220A